

2012年度知財功労賞

特許庁は、産業財産権制度の普及促進や発展に貢献のあった個人に対して「産業財産権制度関係功労者表彰」として、また、産業財産権制度を有効に活用し、その発展に貢献のあった企業などに対して「産業財産権制度活用優良企業等表彰」として、それぞれ経済産業大臣表彰および特許庁長官表彰（総称として知財功労賞）を行っている。今回の知財功労賞の受賞者は以下の通り。

知財功労賞 特許庁長官表彰

産業財産権制度関係功労者

井上 養朔氏 [元 仙台市立将監中央小学校 校長]
■1986年、宮城県初の「仙台市泉少年少女発明クラブ」の設立に尽力し、以後、副会長として同クラブの活動全般を統括。県内ほかのクラブの設立や運営、相互連携にも尽力し、次世代の産業財産権制度の担い手の育成や地域の知的財産教育の発展に貢献。 ■東日本大震災後には、宮城県内の少年少女発明クラブの被災状況およびクラブ員の安否などの把握を率先して行い、またクラブの通常運営の早期再開にも貢献。【宮城県】

水谷 直樹氏 [弁護士 (水谷法律特許事務所)]
■産業構造審議会知的財産政策部の法制小委員会、意匠制度小委員会の委員を務め、特に、専門性の高いソフトウェア関連の法制度改正に尽力。また、意匠審査基準ワーキンググループの座長として、意匠審査基準などの枠組み整備にも貢献。 ■日本弁護士連合会では、知的財産関連委員会の委員長などを歴任し、知的財産に強い弁護士の育成に寄与。法科大学院などにおいても、実務家教師として知的財産分野について教鞭（きょうべん）をとり、幅広く人材育成に貢献。【東京都】

峯 唯夫氏 [弁理士 (特許業務法人レガート知財事務所代表社員)]
■日本弁理士会副会長として、一般向けの知的財産権の活用例をまとめた小冊子の作成や、2008年度特許庁知財駆け込み寺連携事業における「知的財産権制度QA集」の作成、中小企業・学生の指導に尽力し、知的財産権制度の普及啓発に貢献。 ■知的財産研究所における委員会での調査研究や、産業構造審議会知的財産政策部意匠制度小委員会における審議を通して、2006年意匠法改正に寄与し、改正後には、日本弁理士会役員として会員への改正内容の周知徹底を図るなど、行政の円滑な推進に貢献。【東京都】

山内 康伸氏 [弁理士 (山内特許事務所)]
■2005年度の四国地域知的財産戦略本部発足時から、本部長として四国地域の知的財産戦略推進計画の策定に寄与。同計画の実行にあたっては、四国経済産業局設置の人材育成事業の委員長を務め、四国地域における継続的な知的財産の戦略的活用促進に貢献。 ■発明協会香川県支部などにおいて、多年にわたり無料相談の相談員を務めるとともに、セミナー講師なども積極的に引き受け、地域の優良技術の掘り起こしと知的財産権制度の普及や人材育成に貢献。【香川県】

産業財産権制度活用優良企業等

アサカ理研 (特許活用) [福島県]
【受賞のポイント】
■産学官連携による共同研究の歴史が古く、1979年から大学、産総研との共同研究に積極的に取り組む。同社の基幹事業である金の回収技術は産学官連携の成果の一つ。 ■特許調査は開発者が行うとともに、開発した成果は特許事務所にも新規性、進歩性、権利の抵触性の観点から詳細な調査を依頼。重要な案件は、複数の特許事務所による見解を参考にして総合的に判断。 ■特許とノウハウの区別を明確化。特許出願は、製品を見ればその製法を検証できるものに限定。ノウハウとして秘匿するものは、膨大な実験ノートを含めて毎月公証人役場の確定日付を利用し、金庫に保管。

エンジニア (特許活用) [大阪府]
【受賞のポイント】
■知財を経営に生かすための独自の「MPDP理論」を提唱。M（マーケティング）、P（パテント）、D（デザイン）、P（プロモーション）の四つの組み合わせにより、ヒット商品が誕生するという考え方を実践。日本のモノづくり企業の活性化をテーマにしたセミナーで、知財の啓発活動を推進。 ■社長自身が知的財産管理技能検定2級の資格を取得。社員30名のなかで、2・3級合わせて5名の技能士が在籍。方針として、検定2回までは会社が費用を負担。また、社長を含めた開発会議を週2回開催し、知財会議が飛び交う中で社員も積極的に新製品開発プロセスにおいて知財を活用。 ■特許電子図書館（IPDL）と商用データベース（DB）を併用し、顧客他社や工具系の特許調査でFターム検索などを駆使して実施。また他分野の技術で、工具に活用できるものはないかなどアイデア発掘のためのDBとしても活用。

ナブラ (特許活用) [東京都]
【受賞のポイント】
■研究開発型企業として、新たな技術を開発し外国を含めて特許化した後に、製造メーカーにライセンス契約するビジネスモデルを構築。早期審査、特許審査ハイウェイ（PPH）を活用して早期に権利化。 ■特許は経営の柱と位置づけて、ライセンスを前提にした物質、製法、材料、用途などの特許を戦略的に取得。これまでの特許率は9割超。 ■ライセンス先に対しては、同社の知財の保全を万全のものとし、権利の拡大が可能なようライセンス契約に当たっては細心の注意を払う。

フジキカイ (特許活用) [愛知県]
【受賞のポイント】
■他社との差別化を図るため、他社に先駆けて包装機械に新技術投入。オンライン技術の開発と特許取得の連動を推進。 ■技術部門の選抜メンバーによる特許検討会を毎月実施。特に綿密な関連情報の技術内容や権利範囲を解説。自社実施技術との相違の明確化、回避策による改良技術を促進。 ■専任の特許企画チームを設置して、月2000件を超える特許情報を全件スクリーニングして関連情報を要約化。製造・営業・技術部門の管理者に情報発信。精度が高く徹底した先行技術調査を実施し、調査範囲や検索式もチームで協議して方針を策定。結果として審査登録率9割以上を実現。

MERSTech (特許活用) [東京都]
【受賞のポイント】
■従来の電気回路の延長線上にはない独自技術「MERS」にかかわる知的財産権の健全な防衛・マネジメントを実施。東京工業大学発のベンチャー企業であり、発明者である嶋田隆一教授の下に共同研究部門を設置するなど、新しい発明・特許への意欲も強い。 ■社長を中心に全社員の特許への意識が高く、技術としてのMERSだけではなく、保有特許や各種知的財産制度の情報共有が活発。 ■MERSにかかわる知財活用が大きな目的で、MERS技術の特許権やノウハウ並びに販売権などのライセンスが収益の大部分。また、ライセンスの対象は日本だけでなく、さまざまなプロジェクトが進行中。

バトライト (意匠活用) [大阪府]
【受賞のポイント】
■「バトライト」ブランドの知名度を武器に、それを前面に押し出したブランド力の保護と育成を最重点課題として、他社と差別化した製品開発に取り組む。 ■部品単位の意匠、製品全体の意匠、部分意匠と関連意匠を組み合わせて意匠出願。技術的に特徴があるものは特許出願。 ■専門分野の異なる各開発部門の若手と知財部門で構成される知的財産（IP）リーダー会議を設置。若手人材の知財マインド育成と広義の知財活用を推進。IPリーダーは数年で若手に引き継がれる。

大阪タオル工業組合 (商標活用) [大阪府]
【受賞のポイント】
■平成以降の急増する輸入品とのすみ分けを図るため、2003年度から産地のブランド化に向けた取り組みを開始。2004年「泉州こだわりタオル」を商標出願。2006年の地域団体商標の創設とともに「泉州タオル」を出願。 ■一般消費者への知名度向上を目指す「泉州タオル」とプレミアムブランドを目指す「泉州こだわりタオル」とを使い分け、戦略的なブランド化に向けた取り組みを展開。2011年の生産量は、22年ぶりに前年比101.4%が増加。 ■8月の最終日曜日「泉州タオルの日」と制定。地元関西国際空港と連携し、キャンペーンとして関西国際空港において1万枚のタオルを無償配布。

デュエル (商標活用) [福岡県]
【受賞のポイント】
■国内向けレジャー用ルーアーや釣り糸の「DUEL（デュエル）」ブランドと、イカ釣り製品や海外向けルーアー「YO-ZURI（ヨーヅリ）」ブランドの2大ブランドを保有。マーケット主導による開発から製造販売まで一貫して手掛けることにより、迅速に消費者ニーズをとらえ、品質重視の商品提供でブランドイメージを構築。 ■商標権や特許権などの取得の最大の目的は、機能性や実用性を無視し、外見だけを真似る模倣品対策。海外29カ国で商標登録し、先進国においては代理店や取引先を通じて警告や、冒認出願を排除。新興国においては、外国出願することで模倣品排除に一定の効果。 ■ホームページやカタログに、特許を強調した商品紹介を行うとともに、商標をすべてに◎を表示。また、実際の模倣品をホームページに掲載して、ユーザーに対する注意喚起を促す。

知財功労賞 経済産業大臣表彰

産業財産権制度関係功労者

鮫島 正洋氏 [弁護士・弁理士 (内田・鮫島法律事務所)]
■弁護士・弁理士として、特許訴訟、ライセンスなどの実務に従事する傍ら、知的財産を経営に生かすという発想をいち早く提唱。2000年頃から積極的に論文発表や講演を行い、経営と知的財産の因果関係にかかわる必須特許ポートフォリオ理論、知財経営理論を発表し、知的財産権制度およびこれを経営力に転換する理論の普及・啓発に貢献。 ■2004年頃から、中小企業の経営支援に関する数々の委員会の委員長を歴任。中小企業の知的財産戦略およびそのコンサルティング手法の構築、実践、全国への普及を図り、知的財産戦略コンサルティングを担う人材の育成にも貢献。 ■産学連携および研究開発コンソーシアムにおける知的財産戦略にかかわる委員会の委員長を歴任し、大学や研究機関における知的財産管理・活用の体制作りにも貢献。【東京都】

竹田 稔氏 [弁護士 (竹田・長谷川法律事務所)]
■産業構造審議会知的財産政策部会の特許制度小委員会、商標制度小委員会などの委員、通常実施権登録制度ワーキンググループの座長などを歴任し、数々の法制度改正の実現に寄与。 ■特に、通常実施権の対抗制度の見直しなどが行われた2011年の特許法などの一部改正にあたっては、上記特許制度小委員会委員として審議に参加し、制度設計に大きく貢献。 ■裁判官・弁理士としての豊富な経験と法的知識から、多くの執筆・講演活動を行い、また特許庁の審判参与として、高度な法律問題に対する助言・研修講師を行うなど、産業財産権制度の発展に幅広く貢献。【東京都】

牧野 利秋氏 [弁護士 (ユアサハラ法律特許事務所)]
■裁判官・弁理士としての豊富な経験と法的知識から、産業構造審議会知的財産政策部会の法制小委員会、紛争処理小委員会、意匠制度小委員会などの委員を歴任。審議の充実に大きな役割を果たし、産業財産権制度の改善・発展に貢献。 ■特定侵害訴訟代理業務試験制度部会の初代部会長などを務め、弁理士への特定侵害訴訟代理権の付与に関して、制度の在り方の検討から、能力担保研修や試験制度の立ち上げ・実施に至るまで中心的な役割を担い、弁理士のさらなる質の向上に貢献。 ■商標制度に関する調査研究活動、立法に関する提言、情報交換・講演会などを行う日本商標協会の会長として、商標制度の普及・啓発などに尽力。【東京都】

知的財産権制度活用優良企業等

キンセイ産業 (特許活用) [群馬県]
【受賞のポイント】
■月2回、社長以下20名が出席するKS-21会議において、技術的アイデアなどが検討され、社内全体の共通認識として情報を共有化。 ■30年余のつきあいがある顧問弁理士と月1回定期的に打ち合わせを行い、アイデアの発想段階から二人三脚で特許戦略を構築。これまでの特許率は97%、実施率は100%。 ■国内は自社実施を原則。海外は一國一企業を原則とするライセンスポリシーにより、中国・韓国・台湾・米国・インドにおいて技術供与。ライセンスシとは家族的なつきあいにより、信頼関係を構築。

辻製油 (特許活用) [三重県]
【受賞のポイント】
■創造型研究開発により蓄積された技術と知財を重要な経営資源と位置づけ、その優位性を基盤としたブランド体系化戦略を推進。また、2008年度から独自の「知的財産推進計画」を毎年策定し、毎年度重点目標を掲げて推進。 ■「あきらめない」を合い言葉に、価値ある特許の創出と権利化に取り組んでおり、これまで審査請求した出願は100%権利化。 ■副産物などの未利用資源を有効活用し、付加価値が高い機能性素材の開発を重点化するとともに、地域で資源を確保するため、地域の農家と連携してニンニク、柚子などを生産するなど地域経済との共生と発展に取り組む。

タカラベルモント (意匠活用) [大阪府]
【受賞のポイント】
■一歩先を行くデザイン開発とともに、海外を含めた模倣品の排除に意匠制度を積極的に活用。国内においては、多数の模倣品を排除した実績あり。 ■全体意匠や部分意匠を出願。また過去の経験則から他社社の模倣意匠を想定し、類似の範囲を十分考慮したバリエーションに富んだ関連意匠を出願。 ■二年に1回、同社独自の新たなデザイン・機能などを業界向けに提案する展示会を開催。業界のトップメーカーとして、業界全体のデザインや技術の発展に貢献。

資生堂 (商標活用) [東京都]
【受賞のポイント】
■資生堂グループ企業理念「Our Mission, Values and Way」にて、国・組織・ブランドを問わず、資生堂グループすべてのブランド価値を高めることを明確に規定。ブランド価値を高める知的財産を侵害されないよう管理するとともに、他者の知的財産を尊重することに尽力。 ■重要ブランドのグローバル展開時は、日本を含めすべての販売国で商標権取得を図る。加えて、各地域で商標に関する侵害案件などが発生した際は、各地域の法務部と連携し自社商標の権利保護を強化。さらに、中国での冒認出願には、自社ブランド価値を保護するため異議申立請求などを通じて積極的に対応。 ■また、2002年に開催された国際知的財産保護フォーラム主催の第1回中国派遣から社長が参加するなど、積極的に参画。2010年にも、商標・意匠の担当役員が同派遣に参加し、中国の政府関係機関と知的財産問題について協議。フォーラムと一体化した活動を推進。

あなたの知的創造活動に、INPIT(インピット)のサービスをお役立てください。



- ① 調べる**
 - インターネットによる特許電子図書館 (IPDL) の提供
 - 公報等の閲覧サービス
- ② 相談する**
 - 産業財産権に関する相談
 - 特許庁への電子出願に関する相談
- ③ 活用する**
 - 知的財産マネジメントに関する専門人材の派遣
 - 知的財産情報の活用のための環境整備
- ④ 育てる**
 - イノベーション創出のための人材育成支援
 - 知的財産専門人材の育成支援
 - 学校・大学向けに知的財産マインドの育成支援

<http://www.inpit.go.jp/>

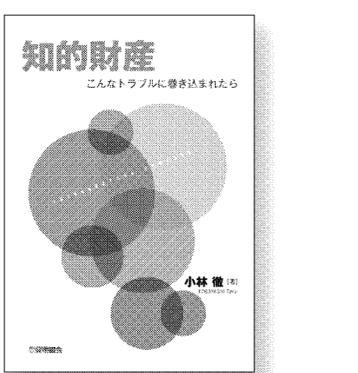
独立行政法人 工業所有権情報・研修館
National Center for Industrial Property Information and Training
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-4-3特許庁2F

私たち知的情報サービス業協会 (知情協) は、特許及び技術関連情報の調査・精読・分析を業とする職人の集団です

| | | | |
|------------------------------------|---------------------------|-------------------------|-----------------------------|
| 有限会社アイコ 青木 茂雄 | 有限会社アイエスペントリサーチ 飯田 進 | アイ・ティーパテントリサーチ 飯塚 孝良 | エム・ディー・エフ 石原 洋子 |
| パテントワークス 糸須 寿夫 | 株式会社アイアールエージェンシー 牛山 剛 | 株式会社パットブレーン 片岡 敏光 | 株式会社ラビカ 川内 清隆 |
| 株式会社ウィズメイン 木島 政夫 | 有限会社パテック 木村 健司 | 特許法人多来(DARAE) 金 義 | 株式会社なみはや情報サービス 小山 晋平 |
| 有限会社サーフ技術サービス 嶋山 方央 | 株式会社科学資料 佐藤 春男 | 有限会社リューク 佐藤 久隆 | 有限会社パテント・モニターズ 澤村 嘉朗 |
| 芝田穂秋法律事務所 芝田 麻里 | シバパテントテクノロジー 渋谷 建男 | 特許法人ムハン 丁 泰栄 | PIQ(同) 瀬戸 新一 |
| ipp-Dream 高橋 弘忠 | 田中 清 | テスコ株式会社 寺岡 真 | 株式会社アモティ 藤堂 弘行 |
| 株式会社ナグモ 南雲 嘉明 | 株式会社知財翻訳研究所 浜口 宗武 | 株式会社国際技術開発センター 早崎 勝 | 株式会社ヒロセPMS 広瀬 圭治 |
| オリオン コンサルティング 有限会社 ジョセフ P. ファラー | アイビーリサーチ 有限会社 藤澤 正人 | 有限会社エム・ディー・エス 古川 慎二 | 有限会社ホンダ パテント リサーチ 本多 真佐男 |
| 株式会社パテントサービス 松山 正作 | 株式会社技術情報サービス 丸岡 巧一 | むらた事務所 村田 英明 | 有限会社エム・ディー・エス 村野 親 |
| 有限会社国際パテントテクニカル 森本 忠夫 | 株式会社サンコーパテントリサーチ 吉岡 英樹 | 株式会社和田発明情報センター 和田 輝男 | (順不同) |

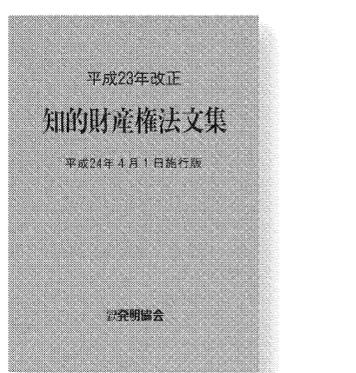
新年度におすすめ！

知財トラブル回避等のセンスをみがく手助けに！
知的財産
こんなトラブルに巻き込まれたら



小林 徹 著
A 6判 118頁 定価1,050円 送料290円
本書は、現実には事業を行っている方が、どのような知財トラブルに巻き込まれるか、事前にその心構えをして、そうしたトラブルをできるだけ回避したり、実際に起こってしまったら、そのような場合に、的確に、かつ、迅速にトラブル処理にあたることのできるような「センス」をみがく手助けとなる知識を、相談形式で紹介しています。
ISBN 978-4-8271-1175-0

知財関係者のためのハンディタイプのコンパクト集！
平成23年改正
知的財産権法文集
平成24年4月1日施行版



発明協会編
A 6判 1028頁 定価2,200円 送料290円
平成23年6月に公布された[特許法等の一部を改正する法律(第63号)]、同年5月に公布された[民事訴訟法及び民事保全法の一部を改正する法律]等による法律改正を取り込んでいます。また、附録として「不正競争防止法第23条第1項に規定する事件に係る刑事訴訟手続の特例に関する規則」を収録しています。
【主な収録条文】
特許法、実用新案法、意匠法、商標法、不正競争防止法、弁理士法、著作権法、独占禁止法(抄)、民法(抄)、民事訴訟法、バリエーション、特許協力条約、TRIPS協定、マドリッド協定議定書 他
ISBN978-4-8271-1178-1

お申込は 一般社団法人 **発明推進協会** 情報サービスチーム
TEL. 03 (3502) 5491 FAX. 03 (5512) 7567
翌日までに届くインターネットでの注文も便利です www.jiii.or.jp